



入ってないから大丈夫です。

入ってなければノーカン。

ここでは言えない話が多すぎます。

みなぎさんがマンチだって話題しかGMは覚えてない。

ちょ、ちょっとまって！
キャラ提出なう。

やるときはやれゆよ。

Tawさんは正直この収録の前後、スケジュールが過密すぎて大変そうだった。

(録音のテストをした後に、録音再開)

GM：……アーテステス。録音を再開します。大丈夫。今のは入ってないから大丈夫です。

楽助：おう。よかったよかった。

みなぎ：ここでは言えない話が多すぎます。

GM：リプレイではざっくり削りますので無問題。さて。皆様、キャラクターはできておりますか？

Taw：ちょ、ちょっとまって！

ちょっと準備させて！

楽助：キャラクターは用意できたけど画像がアップロードできないのでお待ちくださいーい。

GM：……私、トレーラー読んでいいですかね？

楽助：いえーい！

Taw：いえーい！

GM：はい、ではまずは皆さんマインドセットイングする為に、ちゃんとシリアスを三回唱えましょう。

GM：シリアスシリアスシリアス。

楽助：シリアスシリアスシリアス。

みなぎ：シリアスシリアスシリアス。

Taw：しり。

GM：あの人を殴ろう。

Taw：大丈夫。私、結構やるときはやれゆよ。

GM：……今。軽く噛んだよね(

Taw：疲れてるんだよ！(迫真)

みなぎ：みんなテンションすごい。おっちゃんついていけるかなー。心配だわ。

GM：……では参ります。皆様よろしくお願ひします。



戦国の世も終わりと告げんとするころ。

一匹の妖魔があった。

戦乱の中で女を奪い、深き森の中でこの世への怨嗟を吠えるモノ。

隠忍と呼ばれる妖かしすら越えるモノ。